

## 第50回通常総会開催 ..... 2

5月15日、会員約150名の出席を得て第50回通常総会を開催。  
総会終了後の役付理事選定理事会において、中本 晃氏が新会長に選任されました。



## 第51期（平成30年度）事業計画大綱 ..... 3

## 中本 晃新会長就任ご挨拶 ..... 4

## 依田 誠前会長退任ご挨拶 ..... 5

## 新役員名簿 ..... 6

## 会員企業優秀従業員定例表彰 ..... 7

5月15日、京都工業会館にて表彰式を挙行。  
会員企業より推薦された62氏（48社）が優秀従業員として表彰されました。



## 会員企業トップインタビュー ..... 8



第13回目は、(株)積進（京丹後市）に田中隆司社長を訪問。  
「断らない」をモットーに新分野へ果敢にチャレンジして成長を続けておられる同社の経営についてお話を伺いました。

◀ 田中隆司社長

## 京都工業クラブ開催 ..... 9

- 「アメリカ経済の現状とわが国への影響～円相場と日本経済、次の波は円高か、円安か～」
- 「働き方改革を加速するRPA～日本企業への導入の現場から～」
- 「次世代通信システム『5G』で変わる私たちの未来～実証実験から見えてくるもの～」

## 白鷺クラブ活動報告 ..... 9

4月5日、30年度定期総会を開催しました。

## 研究会活動スタート ..... 10

弊社基幹事業の1つである研究会が今年度の活動をスタートしました。今回は、業務革新研究会から生産管理（TOC）研究会、特定分野研究会から知的財産権研究会をご紹介します。

## ゴルフ同好会（KIG）活動報告 ..... 11

## 褒章の栄 ..... 11 鹿児島県産業視察ご案内 ..... 11

## 会員企業IoT導入先進事例紹介（第1回） ..... 12

会員企業の中から、IoT（Internet of Things）を製造現場に取り入れ、効果的な活用を実践しておられる企業をご紹介します。  
初回の今回は、(株)工進の事例をご紹介します。

# 第50回 通常総会を開催 —新会長に中本 晃氏を選任—

5/15

5月15日(火)、ホテルグランヴィア京都において、第50回通常総会が会員約150名の出席のもと、盛大に開催された。

依田誠会長が開会挨拶を行った後、議長に選任され、議事に入った。

当日の議案は次の通り。

- 第1号議案：第50期事業報告及び決算の承認の件  
〈平成29年4月1日～平成30年3月31日〉
- 第2号議案：役員任期満了に伴う改選の件
- 第3号議案：定款の一部変更の件
- 第4号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第1号議案については、まず有馬専務理事が事業報告全般及び収支決算について説明。続いて、総務委員会・坂本文明委員長、企画委員会・八木舜副委員長、技術・教育委員会・洲崎智之委員長、中堅企業委員会・尾池均委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・三ツ松昭彦委員長、広報委員会・山下文男委員長より、各委員会の開催した事業について説明が行われた。そして監事4名を代表して佐藤博文監事から会計監査の報告がなされ、満場一致で原案通り承認された。

第2号議案については、議長推薦という選任方法について出席者からの承認を受けた後、事務局がその推薦案を読み上げ、全員異議なく承認された。

第3号議案については、専務理事が定款の一部変更（事務所所在地の変更（第2条）、総会の開催（第13条））について説明し、全員異議なく原案通り承認した。

第4号議案については、専務理事が常勤の理事の年間報酬総額決定について説明し、全員異議なく原案通り承認し、以上をもって滞りなく全議案の審議を終えた。

続いて報告事項として次の2件について専務理事が説明を行った。

- (1) 第51期事業計画及び収支予算の報告の件  
〈平成30年4月1日～平成31年3月31日〉
- (2) 京都経済センター（仮称）に関する件

総会終了後、役付理事選定理事会を別室にて開催し、新会長に中本晃氏を選任、更に副会長に武田一平氏、立石文雄氏、小畑英明氏、錦織隆氏、片岡宏二氏、山岡祥二氏の6氏を再任、村尾修氏を新任した。そしてこれを総会出席者全員に報告し、満場の拍手を受けて、中本新会長一期目のスタートとなった。

会 長	中本 晃	(株)島津製作所 会長	新任
副 会 長	武田一平	(ニチコン(株) 会長)	再任
副 会 長	立石文雄	(オムロン(株) 会長)	再任
副 会 長	小畑英明	(日新電機(株) 会長)	再任
副 会 長	村尾 修	(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 社長	新任
副 会 長	錦織 隆	(株)日進製作所 会長	再任
副 会 長	片岡宏二	(株)片岡製作所 社長	再任
副 会 長	山岡祥二	(株)山岡製作所 会長	再任
専務理事	有馬 透		再任
常任理事	33名		
理 事	27名		
監 事	4名		

(新役員名簿は6頁に掲載)

総会終了後、関係諸機関より多数のご来賓の臨席を得て懇親会を開催。冒頭、中本会長が挨拶を行い、来賓を代表して森清近畿経済産業局長、西脇隆俊京都府知事・岡田憲和京都市副市長より祝辞をいただいた。続いて来賓紹介、村尾新副会長挨拶、この春に叙勲の栄に輝かれたYONE(株)・米田豊彦会長に記念品贈呈、そして新入会員（正会員：日工電子工業(株)、(株)山本精機製作所、(株)ユー・エム・アイ、賛助会員：KES環境機構、モラブ阪神工業(株)）の紹介を行い、賑やかな雰囲気の中、武田副会長の乾杯発声で開宴した。

その後は和やかに歓談し、小畑副会長の閉会挨拶をもって盛況裡に懇親会を終えた。



挨拶  
中本 晃・新京都工業会会長



祝辞  
森 清・近畿経済産業局長



祝辞  
西脇 隆俊・京都府知事



祝辞  
岡田 憲和・京都市副市長



挨拶  
村尾 修・新京都工業会副会長



乾杯  
武田 一平・京都工業会副会長



懇親交流会



閉会挨拶  
小畑 英明・京都工業会副会長

# 平成30年度（第51期）事業計画大綱

平成30年4月1日～平成31年3月31日

- ★1 京都経済センター(仮称)における新たな事業ステージの準備
- 1) 京都経済センター(仮称)への移転に関する業務の推進 ……随時
  - 2) 移転に係る財政的検討 ……随時
  - ★3) 既存事業の総点検と移転後の事業の具体的準備 ……随時
- 2 会の組織強化と会員相互の交流促進
- 1) 総会、理事会、正副会長会議等の開催 ……随時
  - 2) 委員会活動の推進 ……随時
  - 3) 広報・会員サービス活動の実施 ……随時
  - 4) 会員の拡大 ……年間
  - 5) 京都工業クラブの開催 ……12回／年
  - 6) 新春交歓会の開催 ……定例
  - 7) 鳶の会、白鷺クラブ、ゴルフ同好会(KIG)の運営開催 ……随時
- 3 経営・業務革新の促進と人材育成
- 1) 大会・セミナー・視察・見学 ……随時
    - ア. 第21回 京都KAIZEN大会の開催… 1回／年
    - イ. 第13回 京都TQMフォーラムの開催… 1回／年
    - ウ. 購買管理特別講演会の開催… 1回／年
    - エ. 経営革新セミナーの実施… 随時
    - オ. ISO9001・ISO14001内部監査員養成セミナーの開催… 随時
    - カ. 他府県産業視察… 1回／年
    - キ. 生産革新工場見学会の開催… 4回／年
    - ク. 課題対応型セミナー… 随時
    - ★・働き方改革推進セミナーの開催… 随時
      - ・モノづくりモチベーションアップセミナーの開催… 1回／年
      - ・VEで実現する「利益を生み出す企業体質への変革セミナー」の開催… 随時
    - ★・材料技術セミナーの開催… 3回／年
  - 2) 経営管理懇話会（管理者対象）… 随時
    - ア. R&D問題懇話会の開催… 6回／年
    - イ. 生産問題懇話会の開催… 7回／年
    - ウ. 購買・資材問題懇話会の開催… 7回／年
    - エ. 人事労務問題懇話会の開催… 6回／年
    - オ. 経理問題懇話会の開催… 6回／年
    - カ. 監査部門懇話会の開催… 6回／年
    - キ. 品質保証懇話会の開催… 6回／年
    - ク. 経営企画戦略会議21の開催… 8回／年
    - ★ケ. 女性活躍推進懇話会の強化… 4回／年
  - 3) 業務革新研究会（中堅実務者対象）… 随時
    - ア. 品質革新研究会の開催… 10回／年
    - イ. 生産管理(TOC)研究会の開催… 10回／年
    - ウ. 購買調達革新研究会の開催… 10回／年
    - エ. VE(開発設計革新)研究会の開催… 10回／年
    - オ. 生産革新研究会：基礎IE部会の開催… 10回／年
    - カ. 生産革新研究会：JIT改善部会の開催… 10回／年
    - キ. 生産革新研究会：TPM改善部会の開催… 10回／年
    - ク. 生産現場リーダー力強化研究会の開催… 10回／年
    - ★ケ. 良いモノづくりの為に女性の会の強化… 4回／年
  - 4) 特定分野研究会等 ……随時
    - ア. 知的財産権研究会の開催… 随時
    - イ. 情報通信懇話会の開催… 随時
    - ウ. テクノロジー & マネジメント研究会の開催… 14回／年
    - エ. 生産革新(TPS)徹底実践研究会の開催… 随時
    - オ. グローバルQCD研究会の開催… 随時
    - カ. モノづくり革新道場の充実及び特別合宿研修会の開催… 6回／年
    - キ. 新入社員等若手社員を対象とする「モノづくりベーシック講座」の充実開催… 随時
    - ★ク. IoT研究会の開催… 5回／年
    - ★ケ. AI研究会の開催… 5回／年
- ★5) 女性の活躍による企業活力強化支援 ……随時
- 6) 京都高等技術・経営学院(若手技術者対象)… 随時
- ア. 研究科：電子システム研究科  
メカトロニクス研究科
- イ. 本科：機械設計課程  
機械製図課程  
技術スクール（機械加工技術コース）  
管理スクール（生産管理コース、現場改善コース、コストダウンコース、FMEA・FTAコース、3S/5S構築コース）
- 4 産学公連携の強化と新産業・新事業創出
- ★1) 京都産学公連携フォーラムの開催… 1回／年
  - ★2) 産学連携の支援 ……随時
  - 3) 京都産学公連携機構との連携 ……年間
  - 4) 京都産学育成コンソーシアムとの連携 ……年間
- 5 経営グローバル化の推進
- 1) 海外産業視察団の派遣 ……1回／年
  - 2) 「京都海外ビジネスセミナー」の共同開催… 1回／年
  - 3) ジェトロ京都貿易投資情報センターとの連携… 随時
  - 4) 海外経済団体との交流 ……随時
- 6 中堅・中小企業の振興
- 1) 生産革新工場見学会の開催… 4回／年
  - 2) 中小企業見学会の開催… 6回／年
  - 3) 中小企業技術幹部交流会の開催… 6回／年
- 7 地球環境の保全と環境経営の推進
- 1) 京都環境管理研究会の開催… 7回／年
  - 2) 労働安全衛生研究懇話会の開催… 7回／年
  - 3) 環境マネジメントシステム(ISO14001及びKES)の推進… 年間
  - 4) 環境及び労働安全衛生関連課題の動向調査と研究… 年間
  - 5) 京都工業会館内環境関連3団体との協働… 年間
  - 6) 環境問題に関する講演・セミナーの開催(京都経済4団体共同事業)… 1回／年
- 8 地域産業の活性化
- 1) 国・京都府・京都市等関係行政機関との情報交換と協調… 随時
  - 2) 京都経済団体協議会との協調… 随時
  - 3) 府内・外関係経済団体との協調… 随時
  - 4) 京都産学公連携機構との連携（再掲）… 随時
  - 5) 京都産学育成コンソーシアムとの連携(再掲)… 随時
  - 6) 環境関連3団体との協調（再掲）… 随時
  - 7) 青少年と科学の会への支援及び京のエジソンプログラムの推進… 随時
  - 8) 北部地域産業界との連携… 随時
  - 9) 要望活動… 随時
- 9 京都工業会館の円滑な運営と跡地の有効活用
- ★ 新規事業、★ 重点事業



# 就 任 ご 挨拶

会長 中本 晃



去る5月15日の通常総会／理事会におきまして京都工業会の会長に就任いたしました。

伝統ある京都工業会の会長にご推挙いただき、たいへん光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しております。

7名の副会長をはじめ役員の方々、そして会員の皆様方にご支援いただきながら、ご期待に沿えますよう誠心誠意努力してまいる所存ですので、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国経済は世界経済の好調さもあって緩やかながらも成長を続けていますが、米国や欧州に比べても経済成長率は低く、一方で少子高齢化や労働力不足といった大きな課題も山積み状態で、労働生産性を欧米並みに改革することが急務となっています。一方、モノづくり・科学技術の面では、今は第4次産業革命（デジタル革命）の時代といわれ、AI、IoT、ロボットなどの急速な技術の進歩が産業構造そのものを大きく変えようとしています。また急速に成長を遂げている中国などは『中国製造2025』とか『次世代AI発展計画2030』などの製造強国を目指した目標を掲げて突き進むなど、モノづくり・科学技術の面でもグローバル競争が一段と激しさを増してきています。また企業には、これまでのように顧客ニーズにあった製品なりサービスを提供できるだけでなく、地球環境保全やエネルギー問題、自然災害対策などの社会的課題解決を強く意識した取り組みが求められるようになってきています。

このような大きな変化がみられる変革の時代ともいえる環境下、昨年に創立60周年を迎えた京都工業会は『21世紀を担うモノづくり集団～京都からモノづくりイノベーション～』の基本理念のもと、

・未来に向けた変革のリーダーと優れた技術者の養成に重点を置いた、京都の特徴である独創的な技術の創出につながる技術力の向上を担うことができる人材の育

成、地球規模の社会的課題の解決に向けての対応や、ますます激しさを増しているグローバル競争を勝ち抜く人材の育成といった人材の育成事業、これまでも本会の重点事業として実施している、各種研究会、各種革新セミナー、京都高等技術・経営学院、産学公連携などのさらなる充実を図ること、

・京都には優秀な中小企業が集積していることと、その中小企業と大企業の良いコラボレーションがあることが一つの強みとなっている。それにさらに磨きをかけ中小企業のより一層のグローバル化を推進すること、また産学公の連携を強化して新事業の育成を支援すること、

・さらには企業経営に役立つ様々な事業（交流促進事業、視察・見学会）をより積極的に展開していくこと、

これらの取り組みの強化を行って変化の激しい時代にあっても、会員企業の経営力の向上と地元産業界の活性化に貢献してまいりたいと考えます。もともと京都の製造業は伝統産業により培われた高度な技術と精緻なモノづくりをベースに、独自の強みを活かし、常にグローバルな視点で事業を展開するなど、日本の中でもユニークな存在として発展してきました。これからも京都をより発展させていくには、地域を支える産業の力強い活力が不可欠であり、京都工業会と会員企業がその主役としての心構えと責任感をもって一層努力していけるようにしたいと思っています。

来年春には京都経済センターがオープンし京都工業会もその一員になりますが、多種多様な経済団体・組織が一堂に会する、これまでにない「多様な人材・情報が集まる交流と融合」の場ができるため、この場を最大限活用するようにして、新たな価値の創造を目指すとともに京都工業会の更なる飛躍の契機としたいと思います。

今後とも会員の皆様方の一層のご協力をお願い申し上げますとともに、関係の皆様の方の更なるご支援ご指導をお願い申し上げます。

# 退 任 ご 挨拶

前会長 依田 誠



この度、去る5月15日に開催された通常総会をもって京都工業会の会長を退任しました。

会長としての責務をどうにか無事に終えることができましたのも、役員、会員の皆様、京都府、京都市をはじめとする関係の皆様方の温かいご支援、ご協力の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

この二年間を振り返りますと「ブレグジット」「トランプ大統領」「北朝鮮」に振り回された期間でありました。日本を含めた世界景気は比較的順調に推移しましたが、その背後に常に、この三つの不確定要素がちらつくこともあり、決して安定的な好景気とは感じられない、落ち着いた環境にありました。

この間、京都工業会は節目の60周年を迎え、モノづくり集団の取りまとめ役として、従来からの基本政策である「交流を通じた人材育成」「新産業・新事業育成」「グローバル視点からの中小企業振興」等々の施策を進めてまいりました。

一方、世界の製造業の動きを見ると、ドイツが提唱しているインダストリー 4.0、いわゆる第四次産業革命が、AIやIoTの普及/振興に歩調を合わせるように進捗し、モノづくりのやり方が大きく変わろうとしています。無

論、モノづくりのコアな部分は変わりませんが、その前後のつながりやサプライチェーンマネジメントの方式が変わろうとしています。京都工業会でもこうした時代の変化に対応すべく会員企業への情報発信を重要テーマとして具体的に展開して参りましたが、今後は更にスピードアップし、内容をより充実して行かなければならないと思います。

会長在任中には様々な事業に参画させていただきました。特に印象に残るイベントは産学公連携フォーラム、京都スマートシティエキスポ、海外産業視察団などでした。中でも2016年に実施したキューバへの海外産業視察団の派遣は、米国との国交回復直後というタイミングでもあったため国全体の高揚感を肌で感じる事ができた貴重な体験でした。残念ながら、その後のトランプ大統領の方針転換により復興の勢いは停滞したままですが、是非米国の再度の方針転換を期待したいところであります。

京都経済百年の計である京都経済センターの建設も順調に進み、当初の予定通り2019年春にオープン予定です。後任の中本会長の陣頭指揮の元、新しい事務所において、京都工業会を一層発展させて頂けるものと確信しております。皆様におかれましては、これまで以上のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

# 平成30年度 公益社団法人 京都工業会 役 付 役 員 名 簿

※印＝新任理事・役員

(役職は平成30年5月15日現在、敬称略)

会 長	中 本 晃	(株) 島 津 製 作 所	会 長	常任理事	堀 英二郎	太 陽 精 機 (株)	社 長
副 会 長	武 田 一 平	ニ チ コ ン (株)	会 長		前 川 重 信	日 本 新 薬 (株)	社 長
	立 石 文 雄	オ ム ロ ン (株)	会 長		増 山 晃 章	星 和 電 機 (株)	社 長
	小 畑 英 明	日 新 電 機 (株)	会 長	※	松 尾 一 哉	大 阪 ガ ス (株)	理 事 <small>京滋地区総支配人</small>
※	村 尾 修	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション	社 長		村 田 純 一	村 田 機 械 (株)	会 長
	錦 織 隆	(株) 日 進 製 作 所	会 長		村 田 恒 夫	(株) 村 田 製 作 所	会長兼社長
	片 岡 宏 二	(株) 片 岡 製 作 所	社 長		山 口 悟 郎	京 セ ラ (株)	会 長
	山 岡 祥 二	(株) 山 岡 製 作 所	会 長		山 口 進	(株)川島織物セルコン	社 長
顧 問	寿栄松憲昭	元 日 本 電 池 (株)	社 長	理 事	安 藤 源 行	協)日新電機協力会	理 事 長
	田 中 千 秋	元 日 本 電 池 (株)	社 長		井 上 哲 次	京 都 精 工 電 機 (株)	会 長
	矢 嶋 英 敏	(株) 島 津 製 作 所	相 談 役		上 野 山 寛 次	上 野 山 機 工 (株)	社 長
	服 部 重 彦	(株) 島 津 製 作 所	相 談 役		大 蔵 浩 二	(株) 富 永 製 作 所	社 長
※	依 田 誠	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション	相 談 役	※	岡 部 清 文	サ ン コ ー ル (株)	理 事
専務理事	有 馬 透	(公社)京 都 工 業 会	専務理事		笠 井 健 司	京 都 府 鋳 物 工 業 協	代表理事
常任理事	赤 松 儀 隆	三菱自動車工業(株)京都製作所	所 長		川 口 剛 史	(株)日 本 ジ ョ イ ン ト	社 長
※	足 立 正 之	(株) 堀 場 製 作 所	社 長	※	古 賀 昌 信	大 日 本 印 刷 (株)包装事業部	副事業部長
	井 上 正 英	関 西 電 力 (株)	執行役員 <small>京都支社長</small>		小 林 剛 一	日 本 電 気 化 学 (株)	社 長
	宇 城 邦 英	京 都 機 械 工 具 (株)	社 長		阪 口 雄 次	協)京都府金属プレス工業会	理 事 長
	尾 池 均	尾 池 工 業 (株)	社 長		里 村 和 樹	宇 治 電 器 工 業 (株)	社 長
	大 倉 治 彦	月 桂 冠 (株)	社 長		島 田 理 史	(株) 菊 水 製 作 所	社 長
	大 下 実	(株) イ シ ダ	取 締 役		須 河 進 一	須 河 車 体 (株)	社 長
	大 宮 正	宝ホールディングス(株)	相 談 役		鈴 木 三 朗	(株) 最 上 イ ン ク ス	相 談 役
※	岡 田 博 和	T O W A (株)	社 長		鈴 木 順 也	N I S S H A (株)	社 長
	岡 本 光 三	(株) 大 日 本 科 研	社 長		瀬 川 晋 弘	旭 光 精 工 (株)	社 長
※	小 倉 勇	(株) た け び し	社 長		中 村 通	朝 日 レ ン ト ゲ ン 工 業 (株)	社 長
	垣 内 永 次	(株)SCREEN ホールディングス	社 長		根 来 紀 行	(株) 松 風	社 長
	桎 藤 達 郎	(株) カ シ フ ジ	社 長		橋 本 進	(株) 京 都 製 作 所	会長兼CEO
※	加 藤 照 男	太 平 工 業 (株)	社 長		馬 場 英 寿	日 本 た ば こ 産 業 (株)	理 事 <small>関西工場工場長</small>
※	河 村 一 二	第 一 工 業 製 薬 (株)	理 事 <small>生産管理本部長</small>		町 田 徳 男	(公社)京 都 工 業 会	理 事 長
	小 原 勉	(株) 工 進	社 長		水 主 邦 彦	太 陽 機 械 工 業 (株)	会 長
	材 木 正 己	日 東 精 工 (株)	社 長		森 川 真 伍	(株) 森 川 製 作 所	会 長
	砂 崎 達 哉	(株) 砂 崎 製 作 所	社 長		山 中 泰 宏	旭 金 属 工 業 (株)	社 長
	園 田 修 三	福 田 金 属 箔 粉 工 業 (株)	社 長		山 本 正	丹 後 機 械 工 業 協	理 事 長
	竹ノ内壯太郎	三 和 研 磨 工 業 (株)	社 長		吉 田 典 生	三 和 化 工 (株)	社 長
	塚 本 耕 二	(株) モ リ タ 製 作 所	社 長		渡 邊 壯	松 下 精 機 (株)	会 長
	塚 本 能 交	(株)ワコールホールディングス	社 長	監 事	河 原 耕 嗣	(株)宮 木 電 機 製 作 所	社 長
	津 田 幸 平	津 田 電 線 (株)	社 長		佐 藤 博 文	エ ン ゼ ル 工 業 (株)	会 長
	二ノ宮秀明	三 菱 ロ ジ ス ネ ク ス ト (株)	会 長		澤 田 守 成	(株)パ ッ ク ス ・ サ ワ ダ	社 長
	廣 地 厚	グ ン ゼ (株)	社 長		中 野 秀 紀	明 光 精 器 (株)	社 長

# 平成30年度 会員企業優秀従業員定例表彰 ～62氏を表彰～

4/25

4月25日(水)午後、平成30年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、依田誠会長より式辞が述べられた後、受賞者全員の名前が読み上げられ、そして受賞者62氏(48社)を代表して、坪江昇氏(株カシフジ)へ依田会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて、来賓の京都府商工労働観光部 学研都市・ものづくり推進監 平井公彦氏、京都市産業観光局 新産業振興室室長 石田洋也氏より祝辞をいただいた後、受賞者代表として貞永悦司氏(株富永製作所)が謝辞を述べた。そして最後に、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、本年度の表彰式も盛会のうちに終了した。



## 〈受賞者名〉

(以下敬称略)

(株) イ シ ダ	小森佳範	三和研磨工業(株)	北野浩昭	ニ チ コ ン	(株) 栗田正吉
(株) イ セ ト	坂上弘一	(株) GS ユ ア サ	木村健二	ニ チ コ ン 亀岡	(株) 塩内祐次
(株) イ セ ト	中谷賢英	(株) GS ユ ア サ	藤本直生	(株) 日進製作所	宮脇正和
一 志	(株) 古谷昭二	島津エンジニアリング(株)	木村 靖	(株) 日進製作所	渡邊純子
オ リ オ ン	(株) 田村尚也	島津システムソリューションズ(株)	赤田祥造	日 新 電 機	(株) 杉本孝洋
尾 池 工 業	(株) 馬場雄一	(株) 島津製作所	澤井由美子	日 新 電 機	(株) 正木貴史
大 阪 ガ ス	(株) 松根正人	(株) 島津製作所	高橋公代	日 東 精 工	(株) 菅野豊明
大 阪 ガ ス	(株) 山口義彦	須 河 車 体	(株) 後藤雄司	福田金属箔粉工業(株)	岡田泰行
(株) カ シ フ ジ	坪江 昇	菅 原 精 機	(株) 入江将文	福田金属箔粉工業(株)	佐々木隆夫
(株) 片岡製作所	吉本一恵	星 和 電 機	(株) 澤田和彦	(株) 平安製作所	松原二三男
(株) 関西電業社	岡田泰昌	太 平 工 業	(株) 岡本行弘	(株) 堀場製作所	南 孝明
(株) 菊水製作所	安田雅彦	太 陽 機 械 工 業	(株) 岡本幸男	三菱自動車工業(株)京都製作所	瀬古庄司
京都機械工具(株)	軽尾弘喜	太 陽 精 機	(株) 栗本佐江	三菱自動車工業(株)京都製作所	内藤高志
ク ロ イ 電 機	(株) 藤井正敏	太 陽 精 機	(株) 西川法子	(株) 宮木電機製作所	別所裕之
月 桂 冠	(株) 石谷欣子	(株) 大日本科研	森脇信嘉	村 田 機 械	(株) 伊丹和幸
(株) 工 進	笠井則宏	ト ク デ ン	(株) 篠原政継	村 田 機 械	(株) 山本光重
サンコール(株)	斉藤 永	T O W A	(株) 家村浩文	メ テ ッ ク	(株) 松岡義典
サンコール(株)	斉藤雅昭	T O W A	(株) 山崎隆治	明 光 精 器	(株) 香西隆一
(株) 最上インクス	岩井秀樹	(株) 藤堂製作所	池野一久	(株) ユーシン精機	中川昭二
(株) 佐藤製作所	川那部久也	(株) 富永製作所	貞永悦司	(株) ユーシン精機	望月昌則
三 和 化 工	(株) 富永幸寛	(株) ナ ベ ル	奥 廣仁		



# 日本のものづくりの最先端を支える

「断らない」をモットーに新分野へのチャレンジに喜びを感じ成長を続ける!

**株積進 プロフィール**  
 設立：昭和40年1月8日  
 資本金：4,800万円 従業員：96名  
 京丹後市峰山町長岡1750-1  
 TEL.0772-62-1020  
 ・産業機械の設計、加工、組立、調整、  
 現地セッアップまでの一貫業務。  
 ・航空・宇宙、医療、通信など高精度の部品、  
 難削材の精密加工や理化学機器の開発。

(株)積進

社長 田中隆司氏

今回は、「とりあえず断らない」をモットーに、大量生産加工から一品物の航空・宇宙・医療分野の精密加工、理化学機器の開発へと変貌を遂げつつある株式会社積進を訪問し、同社の田中社長にお話を伺いました。

## — まずは創業の経緯や社名を「積進」とした理由を教えてください。

私は2代目ですが、先代の社長は、もともと製材業を営んでいました。昭和40年、これからは車社会になり、車庫、倉庫の需要が増えるだろうと軽量鉄骨の建築部門を立ち上げることにしました。また、地元の(株)日進製作所の創業者と懇意にさせていただいており、「鉄骨を扱うなら当社の下請けとして機械部品もやってみたらどうか」とお話があり、鉄骨建築と工業用ミシンの部品加工部門の2部門で積進工業(株)としてスタートしました。社名についても、先代の名前が田中安積(やすもり)で、「安積の『積』と日進の『進』を採り、経験や仕事を積み重ね進んで行く『積進』と名付けてはどうか」と助言され、「それは良い!」と決めたと聞いています。

## — 当初は、大量生産の仕事がされていたようですが、どのような経過で現在のような多品種少量生産の仕事に転換して来たのですか?

私は大学の工学部で機械製作を学び大手での就職が決まっていたのですが、親から呼び戻され入社することになりました。当時は、大量生産の仕事を行っていましたが、工場長と相談し、より付加価値の高い一品物の仕事を徐々に手掛け始め、昭和57年、三菱電機の北伊丹製作所が外注加工先を探しているという情報を聞きつけ、何のコンネクションも無い中、懸命な営業で半導体製造装置の部品加工を受注できた事が大きな転機となりました。

## — 実績の少ない御社がなぜ受注を拡大できたのですか?

お客様からの要求に対しては、とりあえず断らない。先方との話の中で「こんなものができたらいいですね、やってみていいものができたら買ってくださいね。」と対話を行う一方、社内では、「最初から利益は出なくてよい。作れるかどうかやってみよう、とりあえず、できるようにしていこう。」と社員に声を掛け新しい事に取り組んで来ました。今でもそうですが、解からないことは、お客様に真摯な姿勢で素直に聞いて教えてもらい、新しい製品づくりに取り組んできました。社長自らトップ営業を行い、最新鋭の設備も導入してきました。このような取り組みを続けることで、京都府から中小企業モデル工場、中小企業庁からは合理化モデル工場として認



▲本社工場

定を受けることができました。

半導体の仕事は、最初は部品加工の仕事だけでしたが、組み立てもできないか、据え付けも、最後は設計も、と先方から次々と打診を受けるようになり、その際にも、とりあえず断らない。技術習得のために、手弁当で社員を出向に出し、学びながら事業の領域を拡大して来ました。その結果、現在では、設計から加工、組み立て、据え付けまでできる会社になりました。

三菱電機が半導体製造から完全撤退した後は、他の仕事への拡大に取り組み、今ではJISQ9100の認証を取得し航空、宇宙、医療関連の部品へと製造分野を広げています。

## — 女性の採用や福利厚生に力を入れていますね。

当社は、大卒・院卒の採用を始めた7、8年前からワークライフバランスを重視しています。採用後2か月間で全部門を経験、その後、男女を問わず本人の希望とモチベーションを大切に配属しています。「自分のしたい仕事をしていただきたい」と明言しています。また、社員誰でも休みたい時はいつでも休めます。子供が熱を出して急に休む場合でも誰も嫌な顔をしない風土が出来上がっています。有給休暇の取得も奨励しており、9連休を取得できた社員には、5年に一度ではありますが、奨励金5万円を渡し取得しないと損だと皆認識しています。



## — 最後に今後の抱負は?

変化の激しい今の時代、10年先が全く分かりません。今は、細胞培養装置など理化学分野にも取り組み始めています。「全体の10%は新しい事をしよう」と皆に呼び掛け取り組んでいます。常に新しいことにチャレンジし続けられる会社でありたいと願っています。



## 第613回 京都工業クラブ

4/19

「アメリカ経済の現状とわが国への影響  
～円相場と日本経済、次の波は円高か、円安か～」龍谷大学 経済学研究科長・経済学部教授  
京都大学博士 竹中 正治氏

米国経済は堅調に推移しているものの、その動向はわが国の景気や為替への影響が懸念されることから、龍谷大学の竹中経済学研究科長を講師に迎え、お話をいただいた。

講演では、まず米国景気について、大局的には景気回復の終盤局面にあり、2020年前後に景気後退が始まると予想された。円相場については、「円安の波の終盤局面に入っている。米国の景気回復が続く限りは、円高の上限は1ドル100円前後までで円安への戻りも限定的ながらあるだろうが、米国が景気後退期に移行すれば、日本の景気後退と円高も自然な結果だろう」と述べられた。



## 第614回 京都工業クラブ

5/22

「働き方改革を加速するRPA (Robotic Process Automation)  
～日本企業への導入の現場から～」アビームコンサルティング(株)戦略ビジネスユニット  
執行役員プリンシパル 安部 慶喜氏

働き方改革や人手不足の深刻化等を受け、ホワイトカラーの生産性向上のためRPAへの関心が高まっていることから、各業界でRPA導入をサポートされているアビームコンサルティング(株)の安部執行役員をお迎えし、お話をいただいた。

講演では、RPAの概要と普及の背景、適している業務、導入実績や導入へのアプローチ等の詳細な説明や、製造業での導入事例の紹介がなされ、またRPAのデモンストレーションも行われるなど、RPAへの理解を深めることができた。



## 第615回 京都工業クラブ

6/22

「次世代通信システム『5G』で変わる私たちの未来  
～実証実験から見てくるもの～」(株)国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)  
適応コミュニケーション研究所担当部長 山田 雅也氏

様々なものがインターネットに接続されるようになり通信インフラの重要性が益々高まっていることから、次世代通信システム5Gについて、ATRの山田部長をお迎えし、お話をいただいた。

講演では、5Gは「超高速」「多数接続」「超低遅延」を特長とし、様々な要求に対応可能な超柔軟性を持つこと、そして通信事業者と産業・企業が組んでどのようなB2B2X (Business-to-Business-to-X) モデルを構築できるかがポイントとなること等が説明された。ATRがスタジアムや駅で行った実証実験の映像等も紹介され、5Gへの理解を深め、次代のイメージが膨らむ例会となった。



## 白鷺クラブ 活動レポート

## 平成30年度定期総会を開催

4/5

4月5日夕、鳶の会(白鷺クラブOB会)・白鷺クラブの平成30年度定期総会が、両会員34名が出席し、東山区の「翠雲苑」にて開催された。

片岡代表幹事が開会挨拶を行った後、平成29年度の活動報告、平成30年度の役員の選任、そして同年度の事業計画について活発な討議を行い、全ての議案について満場一致で承認された。

今年度の他府県視察研修は、7月12・13日に、良質な人材を求めて立地する企業が増加している秋田県を訪問する。また3年に1度の海外視察を8月25日～9月2日の9日間で派遣、英国中部の工業都市を中心に訪問し英国製造業の現状とBrexitへの対応や今後のEUや日本企業への影響について現地で直に学ぶ計画である。

## &lt;平成30年度役員&gt;

代表幹事：田中 安隆 君  
(積進・専務取締役)代表幹事：井畑 忠 君  
(清弘エンジニアリング・社長)

幹 事：片岡 宏也 君(片岡製作所・取締役)  
〃：西嶋亜紀彦 君(西嶋製作所・社長)  
〃：川田 潤 君(京都加工・社長)



一緒にうれしい  
On Your Side

## いつでも、あなたの ビジネスのそばに。





### 京都中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

URL [www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)

## 平成30年度 業務革新研究会(8研究会)を総勢201名で発足、活動開始

本会の基幹事業の1つである業務革新研究会(8研究会)は、近年、研究会ごとにその活動が多様化しており、活動を行う上での基本事項の説明も研究会ごとに内容も変化してきた為、昨年度まで行っていた8研究会の参加者合同の総合オリエンテーションを今年度より取止め、5月例会より研究会ごとに順次活動を開催した。

### 5月例会を順次開催

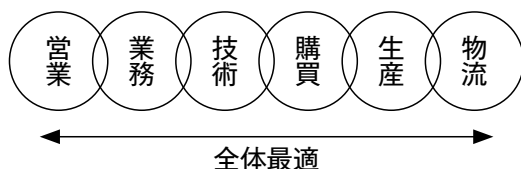
各研究会、午前より開催し、まずは研究会活動の説明を行ない、その後、相互自己紹介、研究会活動の年度方針の検討、前期カリキュラムの検討を行った。午後からは、各アドバイザーの基調講演やそれに基づく活発な討議等が行われた。例会終了後は懇親会も行い、参加者同士の親睦を深めた。

### 【生産管理（TOC）研究会】（5月11日）

財務指標に直結する全体最適を目指したビジネスプロセスの構築、他社との競争優位に立つ基盤となる情報化レベルの向上策を研究している「生産管理（TOC）研究会」では、アドバイザー高橋浩史氏（日新電機株 情報システム部長）から、「生産管理の基本的な考え方」として販売形態に合わせた「もの作り」や生産管理のポイントなどについて基調講演を受けた。

#### ◇生産管理ポイント

売り方に合わせた「生産」、「調達」のあり方を追及する。



#### <前提条件>

- ・個々の機能（組織）は連携している
- ・個々の機能（組織）の能力にはバラツキがある（一定である）

### 〈各研究会の正副主査名〉

（敬称略）

No	研究会名	正副主査名・社名
1	品質革新 (29名)	村田大輔（株）島津製作所） 岡本和也（双和電機（株）） 三宅康裕（株）山岡製作所）
2	生産管理 (28名)	刀禰基樹（日本アイ・ティ・エフ（株）） 小野毅（株）イシダ） 矢葺貴博（星和電機（株））
3	購買調達革新 (19名)	本橋大輔（株）島津製作所） 金澤篤志（株）イシダ） 上橋亮介（ニチコン（株））
4	VE (27名)	木下秀昭（株）富永製作所） 香西健太（株）イシダ） 山本明（コフロック（株））
5	生産革新：基礎E部会 (40名)	乙原善一（株）タイヨーアクリス） 福本豊（双和電機（株）） 廣江郁男（三菱ロジスネクスト（株））
6	生産革新：JIT改善部会 (13名)	近井義和（株）村田製作所） 橋爪優太（ニチコン草津（株）） 岡田和晃（三菱ロジスネクスト（株））
7	生産革新：TPM改善部会 (10名)	安倉秀明（尾池アドバンストフィルム（株）） 今井剛史（島津プレジジョンテクノロジー（株）） 進藤秀信（ナルックス（株））
8	生産現場リーダー力強化 (35名)	山本祥久（トタニ技研工業（株）） 棚田隼人（ニチコン亀岡（株）） 花谷直也（株）ニチダイ）

## （特定分野研究会）知的財産権研究会、活動開始

5月18日の第1回例会では、21名参加のもと、まずは本研究会の主査より今年度全10回の活動計画について紹介した。その後、自己紹介を行い、自己の業務紹介や本研究会への参加に至る経緯等を各々紹介した。

次に中村文胤氏（日本新薬株 知的財産部特許課長）をゲスト講師に迎え、日本新薬株の会社概要紹介から始まり、『医薬と特許／情報調査あれこれ』と題して医薬品分野での知的財産権について、また、特許の情報調査について講演をいただいた。その後の質疑応答ではサブマリン特許や検索方法について話題が挙がり、時間いっぱい丁寧な解説を加えて頂き、大変有意義なものとなった。

最後に清水尚人アドバイザー（NSI 国際特許事務所長・

弁理士）が、『医薬品業界と特許～他業界との異同を踏まえ～』と題し、医薬品に関わる知的財産権や商標、医薬品関連判例や事件についての講演を行った。その後の質疑応答では、物質特許とその他の特許についてなどの質問が続き、盛況のうちに今回の例会を終了した。

今回は異業種である「医薬品」の分野についての講演を聴くことができ、自己の業界との相違点等を知る大変良い機会となった。

#### 〈正副主査〉

主査 水嶋宏介（NISSHA（株））  
副主査 齋藤英治（コタ（株））  
有本大祐（日東精工（株））

## 旭日双光章御受章の栄



米田 豊彦氏

(YONE(株) 会長)

会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。

“明治維新150年と大河ドラマ「西郷どん」で沸く中、  
鹿児島モノづくりの魂と技術に出会う”

### 「鹿児島県」産業視察 ご案内

中本会長を団長に、先端技術や伝統の技により優れた製品を製造している鹿児島県の工場と技術支援施設等を訪問し、経営者等と懇談するとともに、近代日本の技術力、工業力の原点ともいえる世界文化遺産「尚古集成館」等を訪問し、モノづくりの魂に触れる視察を開催します。また、心を癒すぬくもりの宿、妙見温泉「石原荘」での寛いだひと時と交流会もお楽しみいただきます。

皆様の奮ってのご参加をお待ち致しております。

日程 10月23日(火)、24日(水)

内容

- 1日目 鹿児島臨空団地 車窓から視察  
(株)藤田ワークス 訪問  
精密板金加工(半導体製造装置部品等)  
国分電機(株) 訪問  
LED照明器具・自動車用部品製造
- 2日目 尚古集成館(仙巖園) 訪問  
近代日本の技術力、工業力の原点  
鹿児島県工業技術センター 訪問  
中小企業などの技術開発・技術力向上  
を支援する 中核的施設  
河内源一郎商店 訪問  
焼酎及び麴加工食品の製造販売

KIG

## ゴルフ同好会 (KIG) だより

▶平成30年度第1回例会(第221回例会)結果  
と き:平成30年4月11日(水)  
ところ:田辺カントリー倶楽部  
参加者:15名(内、シニア7名)

優勝 林 良典氏(株)きんでん)  
BG賞  
準優勝 瀧本 正明氏(株)やまとカーボン社)  
3位 牧野 稔氏(サンエー電機(株))

▶平成30年度第2回例会(第222回例会)結果  
と き:平成30年6月13日(水)  
ところ:琵琶湖カントリー倶楽部  
参加者:17名(内、シニア7名)

優勝 山分 芳造氏(山分物産(株))  
BG賞  
準優勝 鶴飼 浩隆氏(株)JTB)  
3位 坂根 順一氏(大和ハウス工業(株))

### ▶平成30・31年度新役員を選任

例会終了後、同クラブ内にて総会を開催、役員任期満了につき、以下の通り新役員を選任した。

新会長 増山 晃章氏(星和電機(株) 社長)  
新幹事 上羽 雅雄氏(株)三起エンジニアリング 社長)  
〃 牧野 稔氏(サンエー電機(株) 社長)

## 訃報

鹿野 恒雄氏(鹿野産業(株) 社長)

3月15日、ご逝去されました。(享年84歳)

芝本 正則氏(株)京都グリーンセンター 社長)

6月15日、ご逝去されました。(享年69歳)



里村 善啓氏

(宇治電器工業(株) 相談役)

(平成10年5月～平成27年5月まで  
本会理事)

6月16日、ご逝去されました。  
(享年81歳)

茶屋 勲氏(応用電機(株) 創業者)

6月16日、ご逝去されました。(享年80歳)

ここに、会員各位とともに謹んで哀悼の意を表します。



ゆたかなコミュニティを求めて

コミュニティ・バンク 京都信用金庫は  
地域の皆様とともに歩んでまいります  
これからもよろしくお願いいたします



京都信用金庫

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>



# 京都工業会 会員企業における IoT導入事例ご紹介 1

(株)工進 製造部統括部長 澤田 聡

## 株式会社工進

長岡京市神足上八ノ坪12  
社長：小原 勉 創立：昭和23年  
資本金：9800万円  
従業員数：190名  
ポンプ・噴霧器の製造及び販売

株式会社工進は今年創立70周年を迎えました。町工場から世界一のポンプメーカーへと躍進し、今ではポンプ以外の商品（家庭用、農業用、産業用機器 等）幅広い分野の商品を取り扱っております。

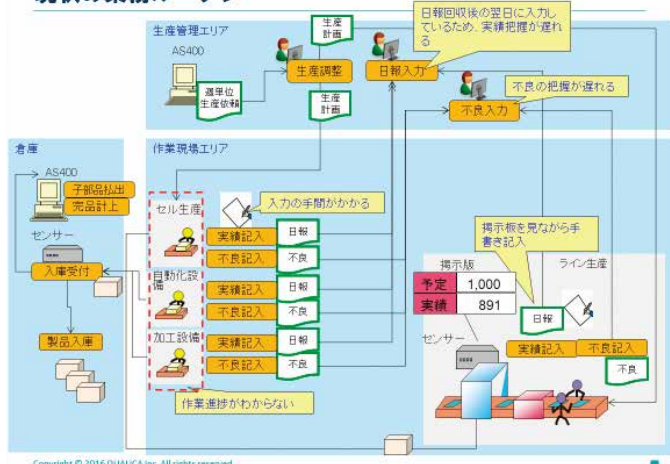
### ●世界一コストの安い工場を目指して

生産大国中国の台頭、大幅な為替の変動、原料副資材の価格の高騰など、21世紀に入り日本のものづくりを取り巻く環境は非常に苛酷な状況に変化していきました。そんな中、弊社では経済的な外的要因にも影響されず、高付加価値を産み続けるコスト競争力のある工場を目指すべく、2008年“日本で作るが世界一安いコストで作れる工場へ改革する！！”というトップ自らの宣言を期に、ものづくりの根本的改革が実施されました。“必要なものを必要なときに”ジャストタイム生産による在庫の最小化、ロボット等省人化設備導入を柱に、工場内のあらゆる無駄を見直し、徹底的な生産革新を実施しました。

### ●更なる無駄削減、設備稼働の“見える化”と“IoT化”の推進

2008年からの10年間で約10億円の投資を実施し、高い付加価値を産む工場へと変革しました。そんな中、新たな課題も生まれてきています。設備およびライン稼働が見えるかです。導入された設備が歩留まりなく100%の稼働をしているかどうか？ 従来の紙ベースの管理では正確な状況把握ができません。データ収集にも多くの工数をとられます。そこで、2016年にクオリカ株式会社様の提案により共同で“1. 見える化 2. つながる化 3. 自動化・自立化”3つのステップに分け、IoT化を進めるべくシステム開発導入をスタートさせました。導入以前、現状の業務の流れは図のとおりです。

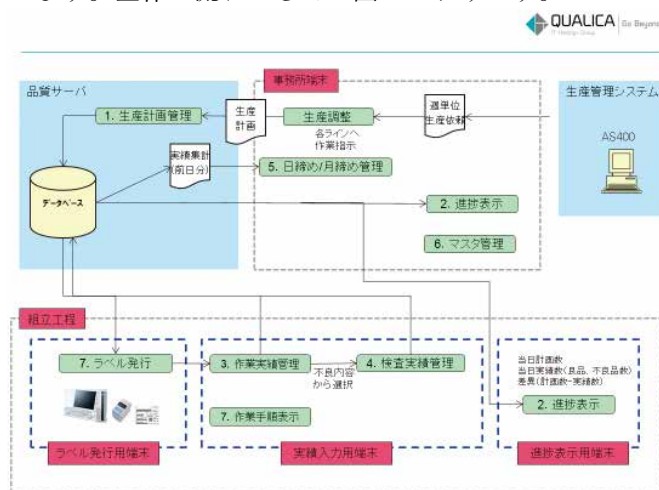
#### 現状の業務ルーチン



### ●見える・つながる・ペーパーレス化による無駄の削減

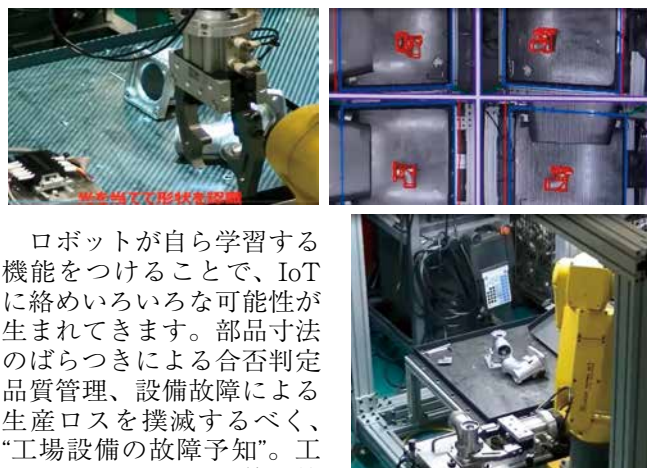
ライン工程内での不良情報データ収集による、客先に対するアフターフォロー。設備稼働状況のリアルタイムな管理システムによる、問題点の抽出と対策。従来の紙ベース作業からの変革による事務作業の削減。現在ステップ1“見える化”に取り組み着実に効果を生み出しています。全体の流れとしては図のとおりです。

管理システムによる、問題点の抽出と対策。従来の紙ベース作業からの変革による事務作業の削減。現在ステップ1“見える化”に取り組み着実に効果を生み出しています。全体の流れとしては図のとおりです。



### ○ロボットAI化への取り組み

2017年より画像認識システムをロボットシステムへ導入しました。



ロボットが自ら学習する機能をつけることで、IoTに絡めいろいろな可能性が生まれます。部品寸法のばらつきによる合否判定品質管理、設備故障による生産ロスを撲滅するべく、“工場設備の故障予知”。工場設備の電圧や振動等、故障の予兆をデータとして収集し、過去のデータから分析をかける事で、消耗部品の交換、設備保全、設備更新と専門知識がなくとも管理できる体制を取ることができます。誰でもが見て管理できるシステムへと変革していくことが可能です。また、収集した情報を製品設計レベルに落とし込むことにより、高生産性なものづくりラインが誕生します。

時代の流れ・環境の変化と共に、ものづくり力を進化し続けていきます。

## 京都工業会 ニュース No.395

2018年7月20日発行

発行 公益社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2  
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755  
URL : <http://www.kyokogyo.or.jp>  
E-mail : [info@kyokogyo.or.jp](mailto:info@kyokogyo.or.jp)